

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

わが身を修める 3 つの要点

1. 「孟子」に次のような言葉がある。

「人恒の言あり。みな曰く、天下国家と。天下の本は国にあり。国の本は家にあり。家の本は身にある。人々は口を開けば「天下国家」と言う。だが天下の本は国にあり、国の本は家にあり、家の本は自分自身にあるのだ。天下国家を真に思うなら、もっと身近なわが身を修めよ、ということである。

2. あらゆる仕事・事業は人物に尽きる。担当する人間の人物いかんが仕事・事業の盛衰を決める。事業は人業といわれる所以である。私たちが人物を創らねばならぬ必要もここにある。では、人物を創るにはどうしたらいいのか。まず、人物になろうと立志することだ、と多くの先哲が教えている。

3. 第二に時処位の自己限定である。人は誰でも一つの時代に一つの処で一つの位置・立場を得て生きている。その時処位で他を願わず精一杯の努力をすることである。第三は自反である。他責の人ではなく、自責の人たれ。他のせいにしていない限り、知恵は沸いてこない。人物は磨かれない。

(参考:「致知」2011年10月号)

経営者のための営業学

御用聞きに徹する

1. 峯田電器(山形県山辺町)は社員数24人、3店舗を展開する、一見どこにもある町の家電販売店だ。しかし、地元のお客の「御用聞き」に徹することによって、介護用品販売やリフォームなどの新事業を開拓している。不況や人口減少の中でも着実に業績を伸ばし、売上高約6億1500万円のうち、新規ビジネスの比率は4割近くに達する。
2. 各店舗の商圈人口は約1万人と多くないが、その分、15人の営業担当者が毎日20~30軒を訪問してニーズを徹底的に集める。売上高の9割が営業の外回り経由からだ。地域を深堀りする中で、「こんな商品扱えないか」という声がいくつも届く。こうした声に丁寧に耳を傾け、事業領域を家電以外にも広げてきた。

(参考:「日経トップリーダー」:2011年9月号)

人事・労務について

グローバル事業の即戦力

1. 国内外の企業からアジアで働く人材として注目を集めているのが、1947年~1949年に生まれた「団塊世代」だ。今、企業で働く60歳以上の従業員数は200万人を超えている。長年勤めた職場を離れ始める彼らに、アジアへの進出を目論む企業などが目をつけたというわけだ。
2. 団塊世代は既に年金の受給年齢に達している人が多い。そのため、新しい職場を探す際には、金銭的な報酬よりやりがいを重視する傾向が強い。企業側にしてみれば、低コストで雇えるベテランの彼らは、ノドから手が出るほど欲しい人材だ。海外勤務を敬遠しがちな「草食系」の若年層より、団塊世代は「肉食系」。グローバル事業の即戦力として、団塊が海を渡る。

(参考:「日経ビジネス」:2011年7月25日号)

古典に学ぶ

「悪いことをしない」とは「いいことをする」という意味ではない

「ただ悪い事をせぬというのみにては、世にありて、何も効能もない」

(訳) 現代の言葉で言うと、悪いことをしない。ただそれだけでは、世の中に対して、何も為したことにもならない。

(参考: 渋澤健「渋沢栄一100の訓話」: 日経ビジネス人文庫)